

## 安井小学校校舎改築推進委員会（第7回）

■日時 平成30年10月11日（木） 午後5時30分～

■場所 安井市民館 会議室

### ■議題

1. 基本計画のまとめ
2. 改築校舎のプラン
3. 設計段階での検討事項

### ■議事

#### 1. 基本計画のまとめ

##### <説明内容>

- ・改築事業の目的は、老朽校舎の解消と、教室不足や運動場不足等の改善。
- ・改築校舎については、プールを4階に配置したL字型の一部4階建て校舎で、配置は現況と同様、敷地の北側とし、改築工事期間中は南側に仮設校舎を建てることとしている。また、体育館への空中通路も設置する方針。地区計画による12mの高さ制限を超えることになるため、近隣の方にご理解をいただき、条例上の特例許可を得る必要がある。プールを4階に配置することで、運動場面積は現況の5,600㎡から6,200㎡となる。
- ・今回の改築に併せて、備蓄倉庫や災害用トイレを整備する。また、既存育成センターの西隣に、3階建ての育成センターも整備する。
- ・工期については、校舎改築工事期間が約2年で、工事中の運動場面積が現況の約3割となる1期案と、校舎改築工事期間が約3年で、工事中の運動場面積が最低で現況の約4割となる2期案を比較し、工事中の騒音や振動、児童の安全や近隣への配慮などから1期案を選択した。
- ・工期中の学校運営について、工事により2年間学校にプールがなくなることや、運動会が自校開催できなくなること、体育の授業で広い運動場が必要になる場面もあることから、代替場所を今後、検討する。
- ・事業スケジュールとしては、2018～2019年に設計を行い、2020年のプール時期終了後、プールを解体し、仮設校舎を設置する。2021年度当初から校舎解体工事にかかり、2022年度末の校舎竣工を目指す。その後、仮設校舎の解体や運動場整備を行い、2024年度内に改築事業を完了させる計画としている。
- ・平成28年7月から約1年半をかけて基本計画案をまとめ、平成30年2月から3月にかけてパブリックコメントを実施した。方針に対して大きな反対意見もなく、基本計画案通り、5月に基本計画を策定した。

#### 2. 改築校舎のプラン

##### <説明内容>

（基本計画時からの変更点）

- ・改築校舎の対応学級数について、基本計画時点では26学級としていた。安井小学校の校区内では、0～3歳児の転出が多く、それを見込んで計画していたが、今年度になって、更新された児童数推計では、想定以上に転出が多かったため、今後、入学してくる児童数が計画時点より減少する結果となった。西宮市でも、将来的には確実に児童数が減少することが見込まれており、26学級のまま改築校舎を整備した場合、教室

をつくり過ぎとなる恐れがあるため、24 学級で整備する方針に変更した。なお、25 学級以上となった場合は、オープンスペース等を普通教室に転用することで対応していく。

- ・26 学級から 24 学級への変更に伴い、校舎面積が縮小することになるが、その分、運動場が広がるように設計した。また、校舎の一部をへこませることで、南面の採光面を増やし、校舎内に光が入るようにした。
- ・正門の位置は、現況となるべく同位置になるようにし、安全に登校できる児童動線を確保した。また、昇降口前にピロティを設け、運動場への動線にも配慮した。
- ・エレベーターは、プールへの移動の観点から、プールに近い位置へと配置した。昇降口からは距離があるが、学校生活においては中心的な位置であるため、問題はないと考えている。

(各階のプラン)

- ・1 階は、運動場を見渡せる位置に職員室と保健室を配置した。給食室は近隣に影響の少ない敷地南西に配置している。
- ・2、3 階は、L 字型の中央部分に特別教室を配置して、各科目の成果を展示できるようなオープンスペースも設けて、学校の特徴の一つとしたい。2 階は図書室、コンピュータ室、3 階は理科室、図工室、音楽室を配置している。また、2、3 階には、1 学年 4 教室に 1 つのオープンスペースをあわせた学年ユニットを 3 つずつ配置している。オープンスペースは採光を取り入れる役割も兼ねている。
- ・プールは屋上に配置するため、周辺への影響や日影を考え、校舎外壁ラインから東側へ 2 m 後退し、歩行者が校舎を見上げた際の圧迫感に配慮している。

(その他)

- ・空中通路について、周辺への影響を考え、できるだけコンパクトにまとめるよう検討している。また、車いすを利用している児童の体育館への移動は、教職員等が付き添い、道路を横断することになる。
- ・改築とあわせて増設する育成センターについて、二方向避難を確保するため、校舎と渡り廊下でつなぎ、校舎南階段を利用できるようにする。
- ・敷地が狭く、運動場と校舎が近接することになるため、緩衝帯として、校舎にコンパクトなバルコニーであるキャットウォークを設置し、防球ネットを取り付けることを考えている。キャットウォークへ児童が出ることは想定していない。

### 3. 設計段階での検討事項

- ・体育館への空中通路については、雨で通路が濡れることがないようにしながら、近隣の住環境に配慮した仕様となるように検討し、今後、最も影響を受けることになる西側にお住まいの方とも協議を行っていく。
- ・外構については、近隣にお住まいの方から、現在の住環境を変えないようにしてほしいとの意見を頂いているので、その影響を軽減できるように検討していく。
- ・校舎に設置する防球ネットについては、キャットウォークに容易に掛けられるよう計画している。防球ネットの設置場所については、関係者と協議を行う。
- ・敷地北東のスペースについては、学級菜園や倉庫を配置して、運動場を整形でとれるように設計していく。これに関連して、現在、運動場に設置されている倉庫も配置を検討していく必要があるため、関係者と協議を行っていく。
- ・屋上プールの水は、消防署が消防活動をするための水としての利用を見込んでおり、災害時等の利用については、消防局と協議をしていく。

- ・将来的に生じてくる空き教室について、現在の想定では育成センターとしての利用を考えている。西校舎の南側を他施設として、利用できるように設計をしていく。
- ・工事期間中の通学路、運動会、プール、体育の授業での代替場所については、学校とも協議しながら、対応方法について検討を進めていく。
- ・校舎内外にある卒業記念作品等の取り扱いについても、関係者と協議を行う。

＜質疑応答＞ ●＝推進委員 ○＝事務局

- 空中通路について、近隣にはまだ説明を行っていないのか。
  - 基本計画の段階では、設置する方針であることを説明している。空中通路にかかる許可を得ようとする、詳細な仕様を決めてからになり、それは設計段階に入らないとできないので、今後、こういった形状になるかなどの詳細を説明してご理解を得たいと考えている。
- 工事期間中の児童の通学路について、敷地東側のバス道を考えているのか。
  - 道路ではなくて、東校舎の東側に敷地内通路を設けようとしている。工事車両の出入りや給食動線等と交錯するが、通路を設けられるように調整していく。
- 運動場にある各倉庫については、どうなるのか。
  - 今後、運動場に置いている倉庫については、倉庫の管理者と配置場所等を協議していきたいと考えている。
- 体育館敷地にある倉庫は、どうなるのか。
  - 今までは学校敷地西側に通用門があって、物の出し入れがしやすかったが、改築後は南側の緊急車両門から出し入れすることになるかもしれない、運動場にある倉庫とあわせて検討していきたい。
- 学校敷地に移動させると、運動場が狭くなるので、できたら移動させずに今のままにしてほしい。運動場に置いている倉庫は、学級菜園のところに移すと、運動場が整形に使えるので有り難い。
  - どちらもご意見として頂戴する。
- 校舎内に運動場から利用できるトイレがあるが、土日等でSC21が利用するときは、教室側は施錠されていて、運動場からだけの出入りになるのか。
  - そのようになる。
  - その際、履き替えをすることになるのか。
    - 運用のことにはなるが、履き替えていただく形になると思う。
- 災害時、備蓄倉庫が2階にあるというのはどうなのか。
  - ハザードマップにおいて、安井小学校は浸水が想定されていないが、万が一のことを考えて、2階に配置したほうが良いと考えている。
  - 災害時、エレベーターは使えないので、備蓄倉庫の位置は要検討してほしい。
    - ご意見として頂戴する。
- 校舎に防球ネットはつけてもらえるのか。
  - 校舎につける防球ネットの範囲は、実際の運動場利用を想定して考えたいので、今後、協議させていただきたい。

- 運動場は 2021 年から使えなくなるのか。
  - 2021 年と 2022 年の 2 年間は、運動場面積が現況の 3 割程度となる。その前後の期間も、仮設校舎や運動場整備の工事があるので、全面利用できない期間が生じる。
  
- 多目的室の利用はどのように考えているのか。
  - 会議や学年の集会スペース等、多目的に使えるように整備する予定。
  
- 敷地北東のスペースは、災害時に仮設住宅を建てることを考慮して、土のままにしてほしい。
  - 学級菜園はどうしても整備する必要があるが、この北東スペース以外に配置すると整形でとれる運動場面積が減ってしまうので、この場所で整備したい。
  
- 東側の住居に対する騒音や砂埃に対する配慮はどう考えているのか。
  - 基本計画でも説明しているが、防塵ネットや植栽帯等を設け、また、運動場の土壌改良も実施し、なるべく砂埃等の影響を軽減できるようにしたい。
  
- キュービクルは屋上に置いても大丈夫なのか。
  - 浸水の問題があるので、地上に設置するのは望ましくない。他校でも屋上に配置しており、問題ないと考えている。
  
- 太陽光発電は、どの程度の発電量を賄えるのか。災害時に避難スペースとなっている体育館に供給できるようになっているのか。太陽光パネルを置くスペースは、まだあると思うし、蓄電池を置いて夜間も照明利用できるようにできないか。
  - 現在、学校を整備する際の市の方針として、太陽光発電は原則、20kW としており、蓄電池は設置しないこととなっている。太陽光発電だけでは、災害時、停電したときの電力をすべて賄えないので、避難所運営に必要な最低限の電力を確保するため、可搬式発電機で対応する方針としている。
- 最近、起きている災害時の対応を考えると、市の方針を見直すべきではないか。
  - ご意見として頂戴する。
  
- 設計業者の選定において、基本計画時の設計業者が有利になるとわかっていながら、なぜプロポーザル方式を採用したのか。
  - 基本計画や改築推進委員会等の資料は市のホームページで公開しており、前提条件は同じになっていると考え、プロポーザル方式を採用した。
  
- これからも色々な課題が出てくると思うが、取り組みとしてどこまで積極的に、問題解決にあたっていただけるのか。
  - 市としても、財政上の状況もあるので、その中で優先順位等をつけながら、検討していきたいと考えている。
  
- 駐輪スペースについて、従来通り西校舎の西側となっているが、西門が利用できないので、例えば正門から自転車を入れて、校舎に入るためにまた正門前に戻ってという風に、動線が非常に長くなる。また、体育館で催しを行う際も同じルートを通

らなければならないのか。

- 検討段階ではあるが、敷地西側には西門と給食物資等の搬入口を設ける予定である。それらの運用の詳細はまだ決まっていないが、校舎と育成センターの間には人が通れるスペースがあるので、駐輪スペースから運動場へは直接行くことができる。
- 土日に運動場や体育館を利用するときに、西門は使えるのかを確認したい。
- 具体的な運用については、関係者の方と協議させていただく予定である。
  
- 運動場ができるだけ広がるように設計をしてきているが、昇降口のスペースが非常にもったいなく感じるので、一足制にしてはどうか。
- 衛生管理上の問題から、市としては、校舎改築に際しては二足制に対応した施設整備を行っている。
  
- 工事が始まったら様々な問題が生じてくると思うが、その都度、推進委員会を開いて対応を検討することは可能か。
- 校舎等の設計に関することは、工事を発注してから大きく変更することは難しいので、設計期間の間にご意見を頂き、検討していきたい。
  
- 車いすを利用している児童が登校する際、エレベーターは西門近くにあるので、動線がどうなるのか教えてほしい。
- 車いすを利用している児童の状況によって、その都度、対応を協議することになると思うが、様々な状況に対応できるような設計を検討していく。
  
- 学校敷地西側の道路側溝を蓋がけしてほしいという要望が、保護者からあったと思うが、それも含めて、学校敷地周囲の道路は安全な形にしてほしい。
- 側溝については、基本計画の時に意見として挙がっていたので、その点も含めて次回の推進委員会で報告したいと思う。